

令和 8 年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立甲奴中学校

校 長 名 竹村 泰則

I 学校の状況

学級数	4	児童・生徒数	33	教職員数	12
メールアドレス	kohnu-j@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.konu-j.hiroshima-c.ed.jp/				

II 学校教育目標

「前向き Be positive!」

めざす生徒像

- ・ 高い志をもち、課題解決に向けて主体的に学び、根拠をもとに正しく行動する生徒
- ・ 人間性豊かで思いやりがあり、他者と協働的に取り組む生徒
- ・ 一歩前に踏み出し、ねばり強く最後まで取り組む生徒

甲奴中学校区小中一貫教育の教育目標

「ふるさと甲奴を誇りに思い、自ら未来を切り拓いていく子供の育成」

III 使命・存在意義（ミッション）

- ・ ふるさと甲奴を誇りに思い、確かな学力を身に付けさせるとともに、将来を見据え主体的に学び、根拠をもとに正しく判断し行動する生徒を育成する。
- ・ 生徒会を中心に生徒の組織的な自主活動を進め、主体的に学び高め合う集団を育成する。
- ・ 異文化間協働活動を推進し、グローバル・マインドやコミュニケーション能力を育成する。
- ・ 甲奴中学校区コミュニティ・スクールとして小中一貫教育を推進し、保護者・地域とともに将来を担う生徒を育成する。

IV 重点事項【資質・能力】

「課題を発見し解決する力」「コミュニケーション能力」「乗り越える力」

【学力の向上】授業がつながる 誰一人とりこぼさない

- ・ 学びのベースとなる読解力を育成するとともに、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体化により、主体的に学び、すべての生徒の力を伸ばす授業づくりを行う。
- ・ 特別支援の視点を取り入れた授業の手立てにより、誰もが「わかった」「できた」と感じる授業づくりを進め、基礎学力の定着を図る。
- ・ 「命を守るためには」を本質的な問いとする防災（河川）学習、職場体験学習や一人一研究など新コア・カリキュラムに基づく総合的な学習に取り組む。
- ・ 指導案検討、模擬授業、授業研究、授業交流を通して授業力向上を図る。

【生徒集団の向上】人と人がつながる

- ・ 生徒会活動を中心に生徒の組織的な自主活動を進め、他者と協働的に取り組み、高め合う生徒集団を育成する。
- ・ TPOをわきまえた言葉遣いや三次で一番あいさつができる生徒を育成する。
- ・ すべての教育活動を通して、人間性豊かで思いやりのある生徒を育成する。
- ・ 生徒指導の4つの視点を生かした教育活動により集団を向上させる。

【異文化間協働活動の推進】世界とつながる

- ・ アメリカス市との交流等の異文化間協働活動を通して、多様性を受容する中でグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・ インターナショナルデイやリトルティーチャーなど実践の場を設定する。

【コミュニティ・スクールの推進】保小中や地域とつながる

- ・ 育成したい資質・能力を子供と共有して系統的に育てる。
- ・ 小中・保育所、地域と連携し、保育実習や小中一貫教育の取組を推進する。
- ・ 学校運営協議会を中心に、コミュニティ・スクールの取組（こうめまるごと大運動会）を推進する。

V 中心価値・行動規範

私たちは、生徒が「この学校で学んでよかった」、保護者が「この学校に行かせてよかった」、教職員が「この学校に勤めてよかった」地域の皆さんが「この学校を誇りに思う」学校になるために全力を尽くします。

- 一 法令・法規を遵守して職務に専念します。
- 一 生徒の将来を見据え、教育的愛情をもって生徒に接します。
- 一 研修を重ね、積極的に挑戦する意欲をもち専門性を磨き続けます。
- 一 「報告」「連絡」「相談」「確認」を大切に、チームとして組織的に職務を遂行します。
- 一 地域の教育力を最大限に生かし、保護者・地域と連携・協力し、地域に貢献し信頼される学校づくりを行います。

VI 現状分析

令和8年度 学校経営環境分析書

1 学校の内外環境の分析

外部環境	O (支援的要因)	S (強み)	内部環境
	T (阻害的要因)	W (弱み)	
外部環境	【地域】 ・PTA 活動に対して協力的である。 ・職場体験等、学校教育に対して協力的である。 ・地域づくりのための組織があり、地域学習に協力的である。 ・部活動の地域展開も含め、外部指導者が協力的である。 ・カーター・ナッツ収穫祭など、生徒が活躍できる場がある。 ・人権教育・グローバル教育の風土がある。 ・多目的施設がある。 ・国際交流協会がある。 【市教委・県教委・国】 ・アメリカス市訪問事業の実施 ・生徒指導への支援 ・コミュニティ・スクールの推進	【学校・職員】 ・小規模校であり、個々の生徒を丁寧に見取り、指導することができる。 ・職員が明るく前向きであり、指導熱心である。 ・職員間の情報共有が行いやすい。 ・研究授業が充実している。 ・小中の連携がうまくいっている。 【生徒】 ・学校行事や生徒会行事に主体的に取り組み、団結できる。 ・「学校が楽しい」と答える生徒の割合が高い。 ・素直な生徒が多い。 ・課題の改善に向けて取り組もうとする意欲がある。 ・防災意識が高い。 ・英語検定に意欲的に取り組む。 【家庭】 ・学校教育活動に協力的である。 ・PTA 活動に対して主体的で協力的である。	内部環境
	【地域】 ・事業所の減少 ・人口の減少 ・少子高齢化 ・公共交通機関が不便 【市教委・県教委・国】 ・複数校兼務者 ・学校支援員、介助指導員等の予算的制限があり、なかなか人員配置されない。	【学校】 ・分掌の仕事の組織的遂行が不十分である。 ・少ない職員数のため、職員一人当たりの負担が大きい。 ・学力等で支援が必要な生徒への支援が、教員数や時間数の関係でむずかしい。 【生徒】 ・不登校傾向や遅刻をする生徒が多い。 ・学習意欲は個人での差が大きく、基礎学力が身に付いていない生徒が多い。 ・生活リズムが崩れている生徒がいる。 ・他者との距離感や適切なコミュニケーションが難しい生徒がいる。 ・読解力のスキルが低い生徒がいる。 ・人間関係が崩れたときの対応力が低い。 ・敬語が使えないなど場に応じた対応ができない生徒がいる。 ・生徒数の減少 【家庭】 ・保護者の教育や子育てに対する意識が多様化している。 ・スマートフォンやメディアの使用について、ルール作りができていない家庭がある。 ・家庭での学習習慣が身に付いていない家庭がある。	

- コミュニティ・スクールの取組（こうめまるごと大運動会等）の推進
- 「主体的、対話的で深い学び」を実現する「課題発見・解決学習」の充実や実践的授業の推進
- ICT を活用した個別最適な学習と協働的な学習の一体化
- 防災（河川）学習を中心とした総合的な学習におけるカリキュラムマネジメント、個別最適な学習の推進
- 授業改善、授業力向上の授業研究の充実
- 生徒の主体性をさらに伸ばす行事や自治活動の取組
- 生徒リーダーの育成
- 組織的な生徒指導体制の充実
- 挨拶の取組をはじめとする小中一貫教育の推進
- 分掌リーダー育成
- 分掌分担の適正化
- 組織的な生徒指導体制の継続、向上
- 学校支援員や介助指導員等の人員配置の要望
- 特別支援の視点を取り入れた授業改善の推進
- 読解力の育成
- 個に応じた積極的な生徒指導の推進
- 相談体制の充実
- 生徒が安心して過ごすことのできる環境整備
- ソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンター等を取り入れた人間関係作り
- 情報発信の強化
- 小中で挨拶の取組
- 働き方改革の推進

【学力の向上】

- ・各教科や学校全体の取組を通して、読解力を育成し、主体的に学ぶ基礎を構築する。
- ・特別支援の視点を取り入れた授業改善を推進し、誰もがわかる授業を創造するとともに、前時との繋がりを意識し、基礎的・基本的な事項を確認や振り返りを充実する。
- ・フォローアップ（HR 学習）や放課後学習、家庭学習課題の工夫により、生徒の基礎学力を定着させる。
- ・ICT を活用した個別最適な学習と協働的な学習の一体化をすすめ、生徒一人一人の力を伸ばす。
- ・「命を守るためには」を本質的な問いとする防災（河川）学習、職場体験学習や一人一研究などの新コア・カリキュラムに基づく総合的な学習に取り組む。
- ・授業力向上や授業改善の授業研究（一人一研究授業やペアによる授業研究等）を進め、主体的に学ぶ生徒を育成し、一人一人の力を伸ばす授業づくりを行う。

【生徒集団の向上】

- ・生徒会活動を中心に生徒の組織的な自主活動を進め、他者と協働的に取り組み、高め合う生徒集団を育成する。
- ・三次で一番のあいさつをめざし、TPOをわきまえ、さわやかな挨拶ができる生徒を育成する。先言後礼、4秒礼の励行・徹底。
- ・TPOをわきまえた言葉遣いができる生徒を育成する。
- ・ソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンター等を取り入れた人間関係作りを行う。
- ・人間性豊かで思いやりのある生徒を育成する。
- ・個に応じた積極的生徒指導を推進する。
- ・生徒が安心して過ごすことのできる環境を整備する。
- ・いじめ防止委員会、特別支援教育委員会やケース会議、SCとの連携をすすめ、組織的な生徒指導体制の充実を図る。

【異文化間協働活動の推進】

- ・異文化間協働活動を通して、グローバルな視野をもたせ、異文化や英語への関心・意欲を高め、グローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・英語科で培った実践的な英語力をもとに、アメリカス市との交流やインターナショナルデー、リトルティーチャーなどの実践の場を設定し、コミュニケーション能力を向上させる。

【コミュニティ・スクールの推進】

- ・育てたい資質・能力である「コミュニケーション能力」「課題を発見し解決する力」「乗り越える力」を生徒と共有して系統的に育てる。
- ・地域探究学習等を実践させ、ふるさと甲奴について深く探究し、3つの資質・能力を育成する。
- ・保育所との連携を進め、職場体験学習や保育実習を実施する。
- ・小学校と連携し、英語・外国語の合同授業研修や挨拶など小中一貫教育を推進する。
- ・学校運営協議会や地域学校協働活動の充実を図り、取組を推進する。
特に、小学校との合同や地域と一体となっていっしょに、こうぬまごと大運動会を継続・成功させる。

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力（知）	「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業の質を高めることにより、これからの社会で活躍することができる生徒を育成する。	学力の定着 【教務】	・読解力の育成 ・特別支援の視点を取り入れた授業づくり ・基礎・基本の確実な定着のための学習 ・ICTを活用した個別最適な学習と家庭学習の充実
		思考力・判断力・表現力の育成 生徒が主体的に学ぶ授業 【教務】	・ICTを活用した個別最適な学習と協働的な学習の一体化 ・新コア・カリキュラムに基づく防災（河川）学習など総合的な学習の時間の推進 ・組織的・計画的な授業研究（一人一研究授業やペアによる授業研究等）
豊かな心（徳）	集団の力を高め、豊かな感性と行動力のある生徒を育成する。	生徒指導上の諸課題の解決 【生徒指導】	・個に応じた積極的な生徒指導の推進 ・生徒が安心して過ごすことのできる環境整備 ・あいさつ（先言後礼・4秒礼）の励行・徹底 ・TPOを意識した言葉遣い ・生活意識アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し、面談とSCによるカウンセリングの実施 ・関係機関との積極的な連携 ・道徳価値の自覚を深める授業
		主体的な生徒会活動 【生徒指導】	・生徒が企画する生徒会・専門部の活動 ・いじめ0プロジェクトの継続・深化 ・思いやりの木の取組
健やかな体（体）	生活習慣の定着と体力の向上を図る。	基本的な生活習慣の確立 【生徒指導】	・小学校との連携による三点固定（就寝時刻・起床時刻・家庭学習開始時刻）の取組 ・「ストップ9」の取組
		基礎体力の向上 【生徒指導】	・体力づくり計画による体育授業の実施 ・新体力テストの課題種目の取組
信頼される学校	働き方改革を推進して、組織力を向上させ、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。	組織力の向上 【総務】 【教務】 【生徒指導】	・働き方改革の推進 ・組織的な学校運営の強化 ・不祥事防止研修の充実 ・小中一貫教育の発展 ・コミュニティ・スクールの推進